



GPS/JIPS の概要と進捗状況

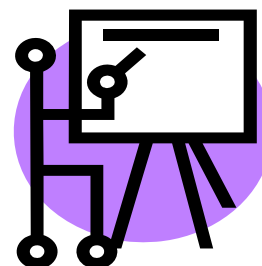
- 第1回 2月7日(木) (日本化学工業協会、東京)
第2回 2月18日(月) (日本化学工業協会、東京)
第3回 2月22日(金) (中央電機倶楽部5階ホール、大阪)

一般社団法人 日本化学工業協会
平野 茂夫

1

本日の内容

1. 国際的な化学品管理の流れ
2. GPS/JIPSとは？
3. GPS/JIPSの推進
 - (1) 体制
 - (2) JIPS ガイドンスの整備と公開
 - (3) GPS/JIPS 情報ポータル開設
 - (4) GPS/JIPSセミナー
4. GPS/JIPSにおけるリスク評価
5. GPS/JIPS安全性要約書
6. 情報公開
7. 化学品サプライチェーンでの情報共有
8. GPS/JIPS 現状と今後の課題
9. まとめ 課題と対応

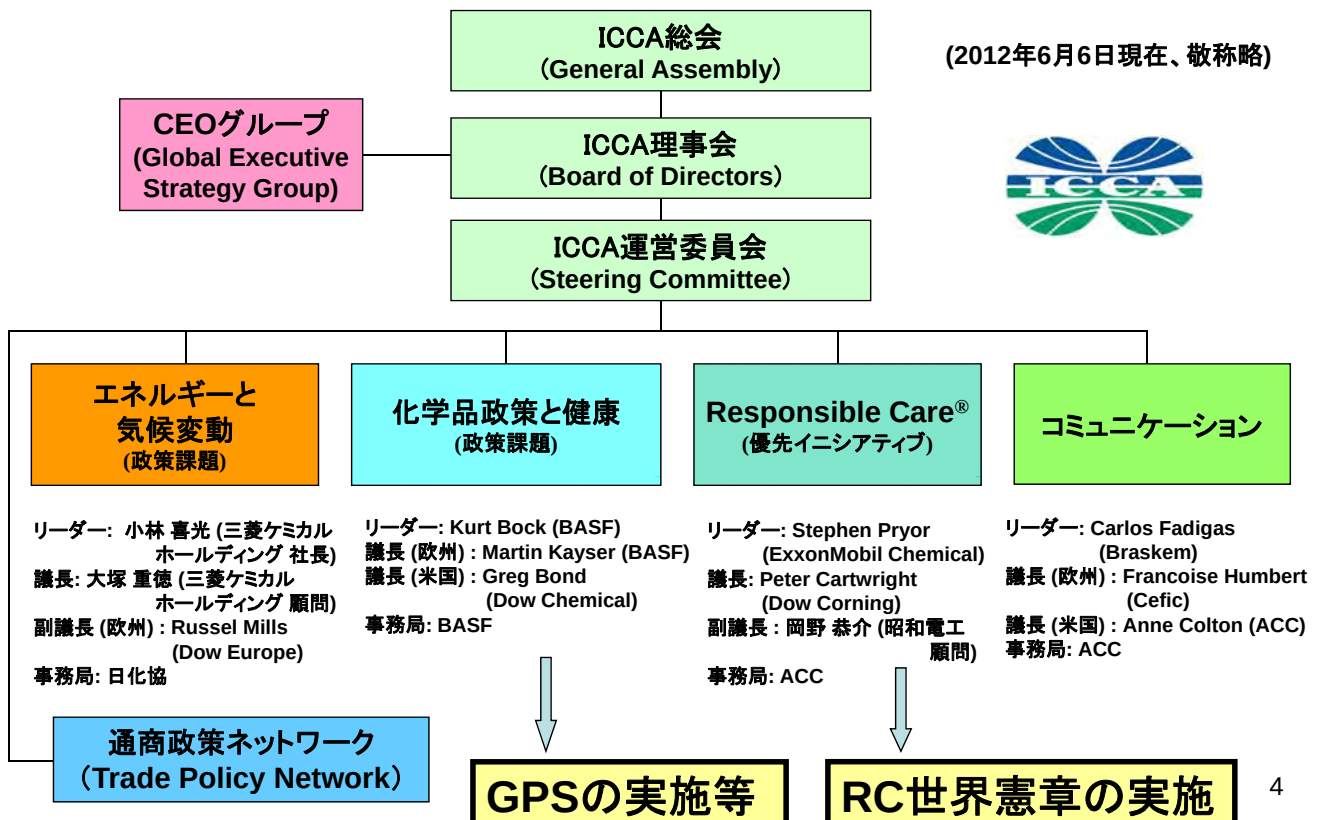


1. 国際的な化学品管理の流れ 各国・各機関の対応



ICCA(国際化学工業協会協議会)の組織と活動

ICCA : International Council of Chemical Associations



2. GPS/JIPSとは？



- 2006年 第1回国際化学物質管理会議(ICCM-1)
トバイ宣言
- ICCAはRC世界憲章とGPSの実施を宣言。
世界の企業CEOに実施宣言書への署名を求める。
- GPS はProduct stewardship を化学産業のみならず顧客およびサプライチェーン全体に拡大、強化していこうというフレームワーク
- 具体的な9項目の戦略(実行)要素



5

GPS (Global Product Strategy) 9項目の戦略要素

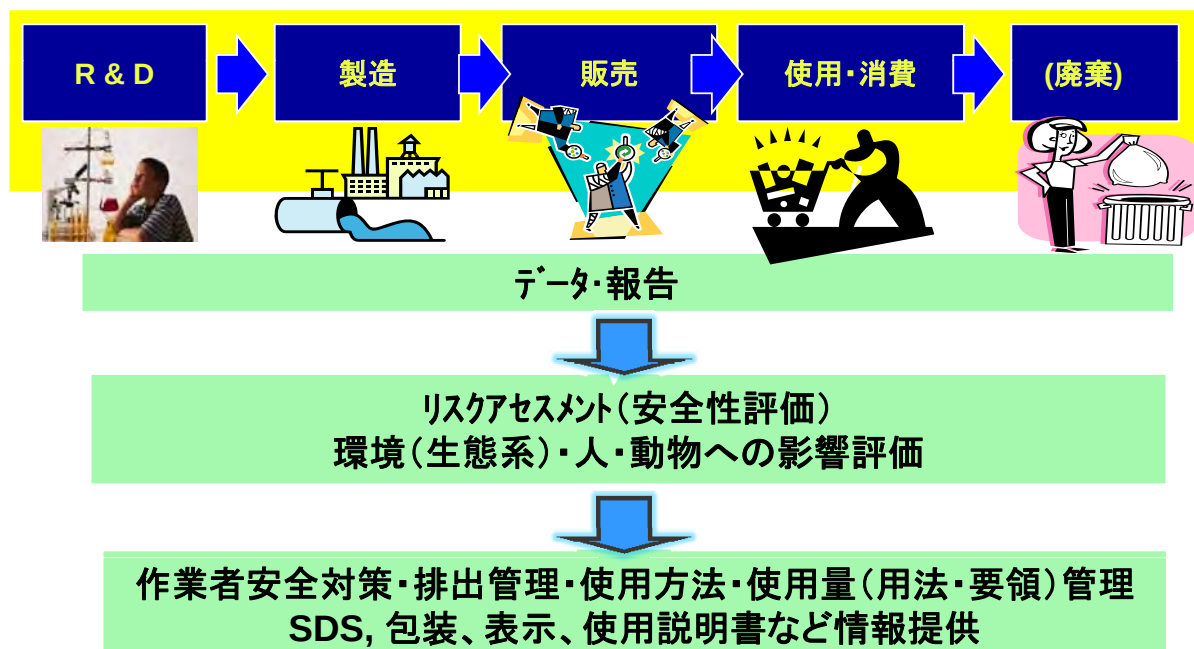
GPSとは、Product Stewardshipを強化する具体的な戦略

1. プロダクトシュアードシップ(PS)プログラムの国際的ガイドラインの作成
2. PSのための管理システムアプローチの開発と**PSの実行**
3. **リスク特性評価およびリスク管理の実行**
4. **下流ユーザー業界とリスク評価・管理に関する共同計画を策定、実行**
5. 国際政府間組織(UNEP, WHO, OECDなど)とのパートナーシップ構築
6. **公共へのPS情報提供のためのプロセス開発**
7. 科学的調査の実施、LRIの推進
8. GPSの各ステップと成果を内外に周知するプロセスの開発
9. 各国政府や政府間組織の化学物質管理施策を適正化するため、Global Advocacyの基本原則を開発

PS (Product Stewardship) とは



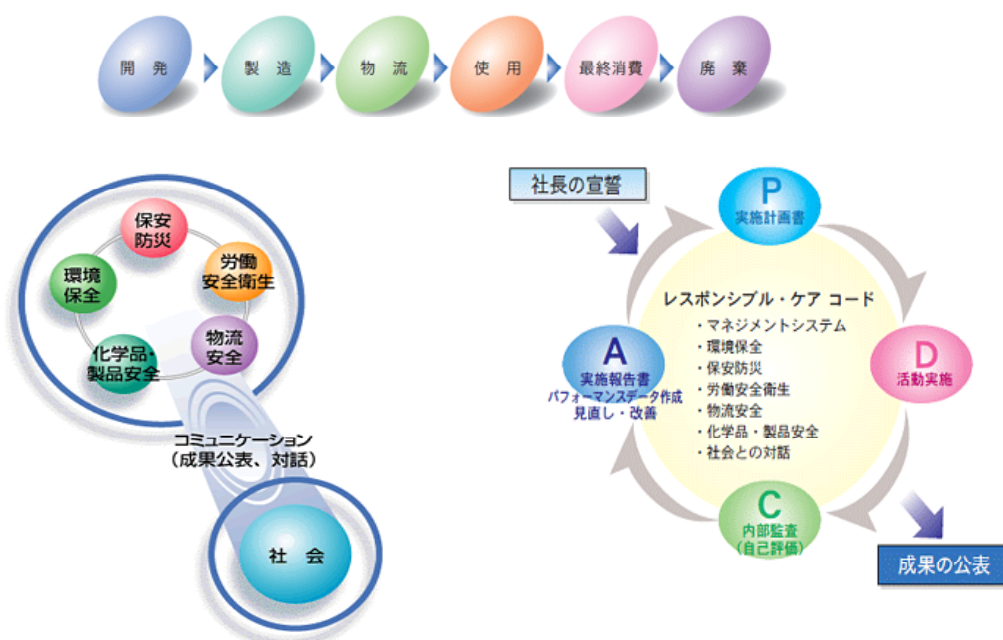
“From the cradle to the grave” 顧客に販売した製品について、その製品を使用する次の顧客、最終的には消費者、さらにその製品の廃棄に至るまで、すべての過程でケアしようというもの。



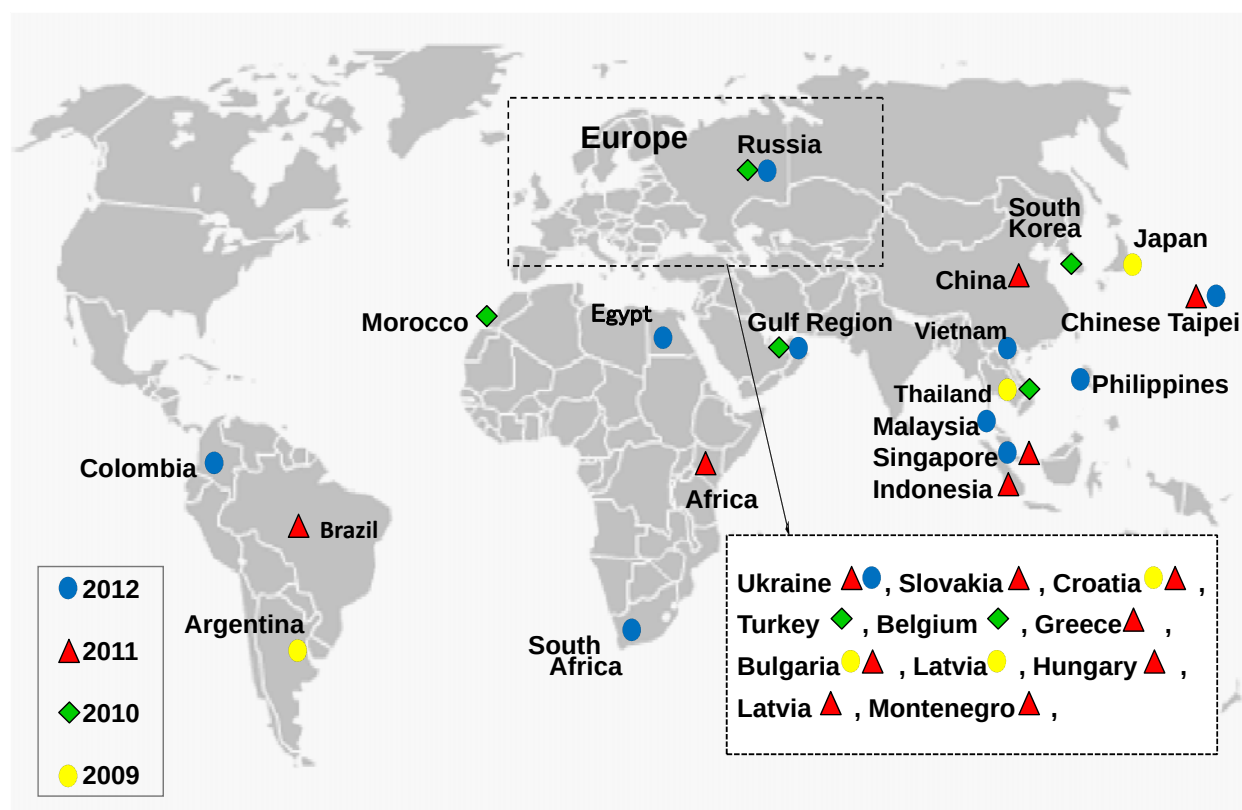
7

ICCA GPSは新規活動か ? ⇒ No

- GPSはレスポンシブル・ケア・コードに既に含まれている。
- リスク評価・管理の詳細はレスポンシブル・ケア標準チェックリストに詳しく述べられている。



8



9

GPSとJIPSの関係



JIPSはGPSの日本版

JIPS : **J**apan **I**nitiative of **P**roduct **S**tewardship

- ICCAのPS及び、PSを強化するGPSを基本概念とし、日化協が取組む化学物質管理の新たな自主活動。
(2009.5 日化協 理事会で承認)
- 日本の状況(規制・ビジネスモデル・SMEs等)にあわせたGPSのフレームワークとして位置づけ、アジアでの展開も視野。
- 2005年6月以来、官民連携で実施してきた“Japanチャレンジプログラム”(対象物質リスト／SIDS・ハザード情報収集と 情報発信)の収束にともない自主的活動としてあらたに開始

法規制と自主活動

(1) 国際的に業界共通の枠組みでの化学品管理

- ・GPS/JIPSを基本とした化学品管理の枠組み
- ・GPS/JIPSで化学品のリスク評価・リスク管理を先行

(2) 第四次環境基本計画（平成24年4月27日）

第9節 包括的な化学物質対策の確立と推進のための取組

① 国が果たすべき役割

- ・制度の構築・運用（環境リスク低減）
- ・基盤整備（人材育成、支援策等）

② 事業者への期待

関係法令を遵守するだけでなく、自主的な化学物質の環境リスクの
評価・管理、情報提供、地域住民との対話等に取り組むことを期待

- ・法規制の遵守
- ・[行政と連携しつつ、レスポンシブル・ケア活動及びJIPS等の自主的な取組を引き続き推進](#)

11

GPS/JIPSの具体的な枠組



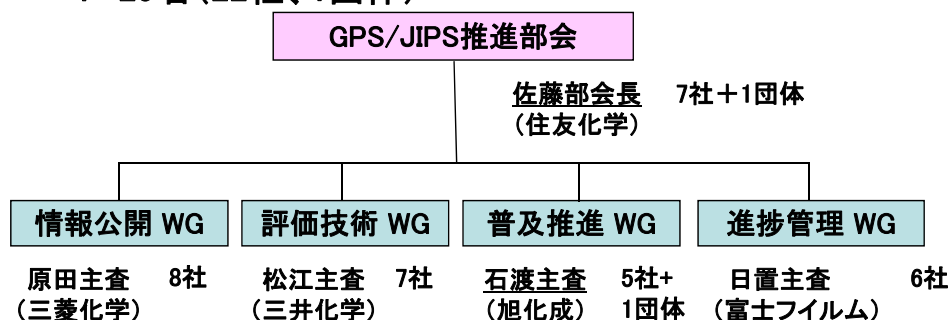
項 目	内 容
活動主体	化学関連企業（産業界の自主活動）
対象物質	各社の製造・販売化学品全般（ $\geq 1\text{t/y/社}$ ）、 リスクベースでの優先順位付け
範囲	リスク評価、リスク管理および情報公開
収集情報	リスクの程度に応じた要求項目（Base Set 情報）
結果報告書	GPS/JIPS安全性要約書 （SDS簡略版＋リスク評価結果及びリスク管理措置）
結果の公開	資料を各企業ウェブサイト公開（GPS Chemicals Portal / ICCA へリンク付）又はGPS Chemicals Portalに直接貼付
情報発信対象	川中・川下、社会一般（全てのステークホルダー）
スケジュール	日化協会員企業による取組み開始（2011年4月より） 日化協団体会員メンバー企業へ拡大（2012年度以降） ICCMで報告（2012、2015年）、WSSD目標達成（2020年）

12

3. GPS/JIPSの推進 (1)体制

1) GPS/JIPS推進部会・WG(支援体制/日化協)

・メンバー：29名(22社、1団体)



GPS/JIPS推進部会：活動方針策定、各WGからの提案審議

情報公開 WG：情報ポータル整備、安全性要約書

評価技術 WG：リスク評価支援(評価手法)、RAガイダンス改訂

普及推進 WG：啓発活動(セミナー企画)、啓発資料発信(パンフレット、FAQ)

進捗管理 WG：進捗アンケート、内部チェックリスト、第三者検証、PSガイダンス改訂

2) GPS/JIPS推進担当者(会員各社)

・各社におけるGPS/JIPS推進の核 現在 117社で指名

日化協GPS/JIPS支援における各社の窓口



メルマガ配信



13

GPS/JIPS推進部会・WGによる支援活動

①準備段階 (2009年度～2010年度)

- ・2009年 5月 日化協 理事会でJIPS活動承認
- ・2010年10月 (ICCA GPS Chemicals Portal 開設)
- ・2010年10月 GPS/JIPS推進部会・4WG
- ・2010年12月 JIPS ガイダンス(PS、RA)



②実施段階 (2011年度～)

- ・2011年 2月 日化協会員企業へ会長名レターで4月からJIPS実施を依頼
- ・2011年 3～4月 GPS/JIPSセミナー(導入編)
- ・2011年 8月 JIPSポータル開設(FAQ、問い合わせ)
- ・2011年11月 JIPS RAガイダンス第2版、JIPSパンフレット
- ・2011年11～12月 GPS/JIPSセミナー(実施編)
- ・2012年4月、6月 GPS/JIPS安全性要約書作成・登録セミナー

(2) JIPS ガイドスの整備と公開

- 1) 2010年 12月3日発刊、12月14日 日化協ウェブサイトで公開)

URL: http://www.nikkakyo.org/show_category.php?category_id=319049&navRow=2

① JIPSプロダクト stewardship ガイダンス

- ・ICCAのPSガイドライン及びJRCCのRCコードを参考に作成

② JIPSリスクアセスメントガイダンス

- ・「Global Product Strategy ICCA Guidance on Chemical Risk Assessment」の解説付き和訳
- ・Living Guidance (今後ICCAの改訂をJIPSに反映させる)

2) ガイダンス改訂

<http://www.nikkakyo.org/documentDownload.php?id=4826>

<http://www.nikkakyo.org/documentDownload.php?id=4700>

① JIPSプロダクト stewardship ガイダンス第2版(2012年4月1日)

② JIPSリスクアセスメントガイダンス 第二版(2011年11月30日)

変更点

- ✓混合物評価法追加
- ✓作業曝露評価法追加



15

(3) GPS/JIPS 情報ポータル開設

2011年8月

・URL: <https://sites.google.com/a/jips.nikkakyo.org/gps-jips-portal/Home>

・内容: GPS/JIPS関連資料、ヘルプデスク、Q&A、イベント情報



現在、再構築中

GPS/JIPS 関連資料

FAQ/ヘルプデスク

Q&A 問合せはここから

イベント/セミナー

GPS/JIPS ポータルサイト ホーム

GPS/JIPSとは

日本化学工業協会(日化協)では化学品管理強化のための新たな化学工業界の自主的取り組みとして、2009年5月より「JIPS」(ジャパンイニシアチブ オープンプロダクト stewardship, Japan Initiative of Product Stewardship)の取り組みを開始しました。

JIPSは、国際的な取組みであるICCAのPS(プロダクト stewardship)/GPS(Global Product Strategy, グローバルプロダクト戦略)を基本概念として、サプライチェーンを考慮したリスク評価およびリスク管理をベースにした、産業界の自主的な取組みです。

(日化協理事会、2009.5)

JIPSはGPSの日本における具体化と位置づけられているものであり、そのことを強調するために「GPS/JIPS」の用語を使用します。 >>> もっと読む

PSとは

目次

- 1 GPS/JIPSとは
- 2 PSとは
- 3 GPSとは
- 4 GPS/JIPSポータルについて
- 5 新着情報
- 6 イベント情報

16

お問合せ Q&A一覧



よくあるお問合わせ (FAQ)

項目

1. 情報公開
2. 運用・管理
3. 普及活動
4. リスク評価
5. 全般

Q&A/問合わせ
はここから

のアイコンをクリック
すると、JICA GPSの物
検索ページが開き
ます。そこから、その
頃の安全性情報を
手することができます。

GPS/JIPS Portal > お問合せ Q&A一覧

Home このサイト 資料 組織 イベント 参加 リンク 問合わせ

よくあるお問合わせ お問合わせされる方へ

よくあるお問合わせ

一覧をご覧の上、適切な回答が見つからない場合には、一覧表下にて案内しているお問合わせ方法の説明頁をご覧ください

目次

1. 1. 情報公開

1.1 ITポータルは誰でも利用可能なのか？利用するときのコストは？

1.2 ITポータルでは、どのように情報を公開するのか？

1.3 MSDとGPS安全性要約書の違いは？

1.4 同じ物質であれば、安全性要約書は各社で同じ内容になるのか？

1.5 安全性要約書の雛形はないのか？

1.6 リスクアセスメントプロセスでハザードの可能性が「微量/ハザードや暴露の可能性が非常に低い」に該当した物質については、GPS安全性要約書の必要な文書化は不要と考えてよいのか？

1.7 ユーザーが限定される場合、そのユーザーへの情報発信のみを行い、GPS安全性要約書一般公開しない企業もあるのか？

1.8 -

1.9 リスク評価結果によるリスク管理措置を公開するのですか？

2. 2. 運用・管理

2.1 マネジメントシステムの規程(制)を示してもらえないか？

2.2 進捗を管理するチェックリストのようなものはないのか？

お問合わせされる方へ (ヘルプデスク)

現在メールで → 今後は、まず電話に変更する予定

17

国内コンサルタント会社



2012年7月現在、GPS/JIPS に関して相談可能な国内コンサルタント会社 (12社)

GPS/JIPSに関して相談可能な国内コンサルタント会社リスト (50音順)

2012年5月現在

コンサルタント会社名	電話(上段) FAX(下段)	担当部門 担当者	URL	E-Mail	備考
1 (株)エルエスピー	03-3523-9115 03-3551-0019	鈴木・難波田	www.lee-s.com	info@lee-s.com	
2 コーヴァンス・ジャパン(株)	03-5158-3362 03-5250-1234 03-3650-7593	足立	http://www.covance.com/	info.adachi@covance.com	GPS/JIPS安全性要約書の作成は英文に対応
3 (有)Joy Consulting	03-3559-8856	高村	www.joy-consulting.com	jei-1@joyconsulting.com	
4 (株)住化分析センター	03-5689-1216 03-5689-1221	化学品安全事業部 環境事業部 長谷川・長谷	http://www.scas.co.jp/service/substance/riskmanagement http://www.scas.co.jp/english/substance/06.html	webmaster@scas.co.jp	
5 CER(一財)化学物質評価研究機構	03-5804-6136 03-5804-6149	安全性評価技術研究所 石井(股)、窪田	http://www.ceril.or.jp/index.html	gas@reach@ceril.jp	
6 テュフ ラインランド ジャパン(株)	045-914-3888 045-914-3353	PeckLang Lim 男澤 英貴	www.tuv.com	info@ant.tuv.com	
7 ハンティンドン ライフサイエンス(株)	03-3238-6381 03-3238-6388	佐藤	www.huntingdon.jp/	zheng@huntingdon.jp	
8 三菱化学メディエンス(株)	03-6722-4210 03-6722-4211 06-6204-8411 06-6204-8716	(東日本) 創業第1営業部 (西日本) 創業第3営業部	http://www.medience.co.jp/medicchem/hinshou.html	http://www.medience.co.jp/e/contact/orysac/qnkl1.html	
9 (株)メディアサービス	03-3666-9915 03-3666-9916	テクノサポート部 荏苒・長南	www.mediaservices-jp.com	shoji@mediaservices-jp.com shoran@mediaservices-jp.com	
10 (株)リプレ	03-5643-2755 03-5643-2756	伊藤	www.repre.net/	customerservice@repre.net	

注:本リストは、弊協会が2010年12月に調査した「REACH関連コンサルタント会社リスト」に掲載されている国内関連機関の中から、「試験実施」、「サポート(リスクアセスメント等)」、「一般的コンサルタント」に「Q」印が記載されている会社を元に作成しました。
本リストに掲載されておらず、GPS/JIPSに関して企業からの試験実施やサポート、一般的コンサルタントなどの相談を受け付けていただけて本リストに掲載をご希望される会社がありましたら、弊協会事務局(helpdesk@jips.nikkakyo.org または Tel. 03-3297-2567)までご連絡下さい。

GPS/JIPSに関して企業からの相談に対応可能な連絡をいただいた組織リスト (申し出順)

2012年6月現在

組織名	電話(上段) FAX(下段)	担当部門 担当者	URL	E-Mail	備考
1 (株)三菱化学テクノリサーチ	03-5226-0731 03-5226-0741	勝俣、黒崎	http://www.mctc.co.jp	info@mctc.co.jp	
2 (株)住化技術情報センター	06-6220-3001 06-6220-3008	化学品安全性グループ 宇和川	http://www.stis.co.jp/	unagawa@stis.co.jp	
3					
4					
5					

18

(4) GPS/JIPSセミナー



1) GPS/JIPSセミナー(導入編)

- ・対象: 日化協会員及びその関係会社の実務担当者
- ・日時: 2011年3月～4月 4回(東京3回、大阪1回)

2) GPS/JIPSセミナー(実践編)

- ・目的: JIPSリスク評価の流れと具体的な手順の理解
- ・対象: 会員企業(関係会社を含む)の実務担当者(参加者:144名)
- ・日時: 2011年11月～12月 3回(東京2回、大阪1回)



3) GPS/JIPS安全性要約書(GPS SS)作成・登録セミナー

- ・目的: ICCM-3に向け安全性要約書アップロードの促進
- ・対象: 先行会員企業(化学品管理委員会メンバー)の及びその関係会社
- ・日時: 2012年4月(第一部)、6月(第二部)
- ・構成: REACH DossiersやMSDSを活用したリスク評価済み物質の安全性要約書作成・アップロード手順、留意点

4) GPS/JIPSセミナー(導入編)

- ・対象: 化成協、関化協会員企業
- ・日時: 2012年10月

5) GPS/JIPSセミナー(実践編Ⅱ)

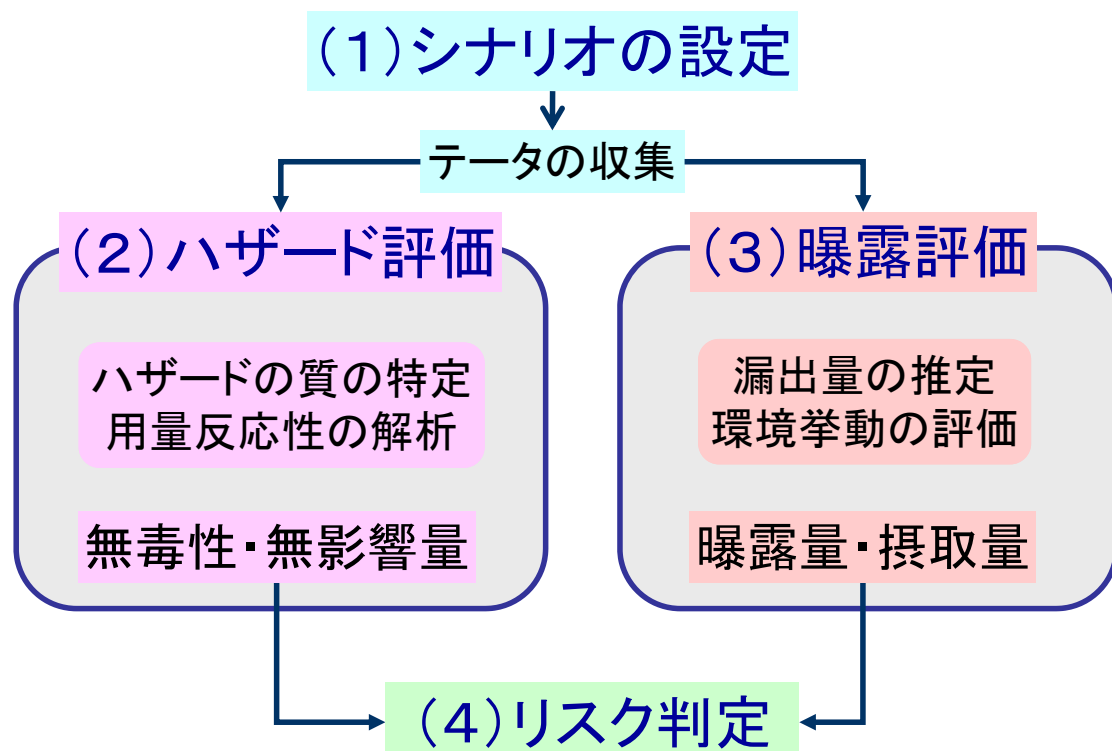
⇒ 今回

- ・対象: 日化協、化成協、関化協会員企業
- ・日時: 2013年2月

19

4. GPS/JIPSにおけるリスク評価

リスク評価のプロセス

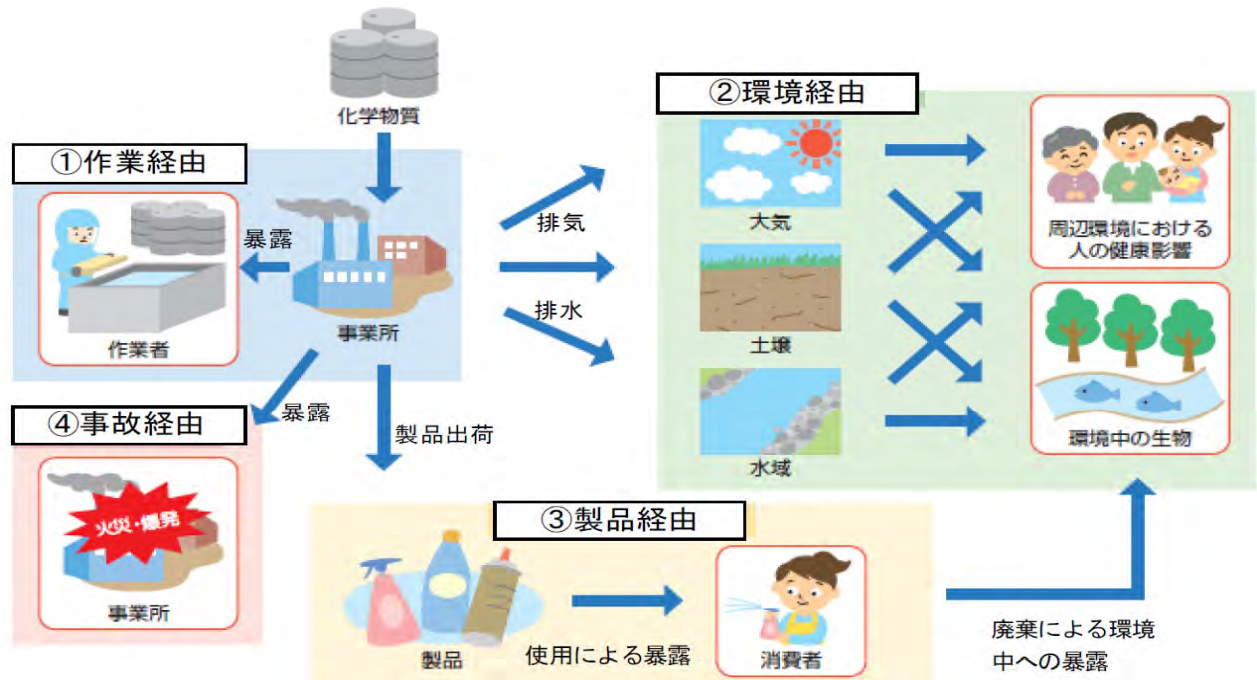


20

曝露シナリオ



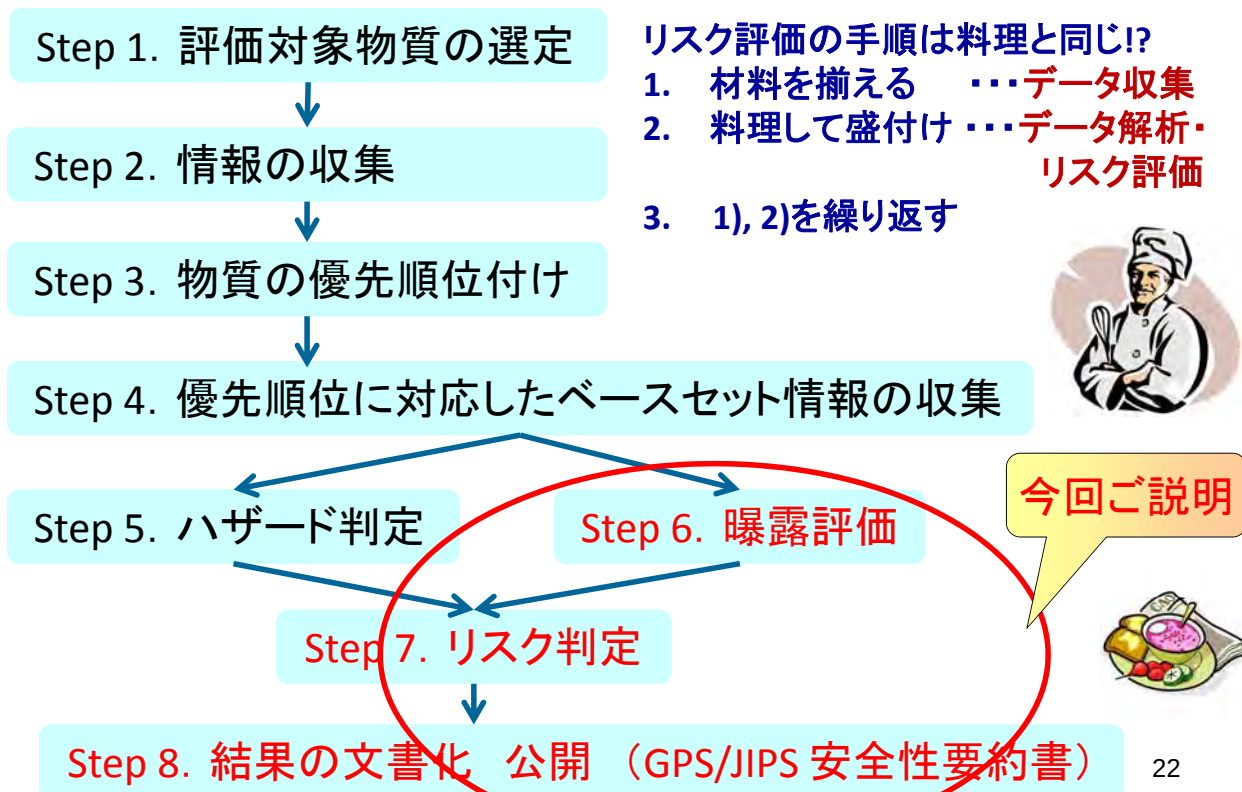
作業員、環境、消費者



衆議院調査局環境調査室資料

21

GPS/JIPSのリスク評価プロセス



22

曝露評価シミュレーションモデル、リスク判定手法の例

地域	対象	初期評価⇒ 高次評価		
日本	環境経由 ヒト/生物 ¹⁾	化審法スクリーニング 評価手法	化審法リスク評価手法	実測
	作業員 ²⁾	コントロールバンディング	EASEモデル(英国HSE)、TRA (ECETOC)、RISKOFDREAM(EU)他	
	消費者 ³⁾	極端な仮定による ばく露量推定	・実用条件を考慮したばく露量推定 ・消費者製品の推定ヒトばく露量推算 ソフト	
欧州 REACH	環境経由 ヒト/生物	ECETOC-TRA	EUSES	
	作業員		RISKOFDREAM, ART	
	消費者		ConsExpo, AISE REACT	

- 1) 環境経由・ヒト/環境生物・・・化学物質審査規制法(優先評価化学物質に関するリスク評価の技術ガイダンス(案)など)
 2) 作業員・・・厚生労働省(労働者の有害物によるばく露評価ガイドライン)
 3) 消費者・・・NITE(GHS表示のための消費者製品のリスク評価手法のガイダンス)

23

5. GPS/JIPS安全性要約書

■ GPS/JIPS安全性要約書(GPS SS)

- ✓ 自社で製造販売する化学品に関するGPS/JIPS検討結果を判りやすい書式でまとめたもの

■ 作成に関する基本方針

- ✓ 全てのステークホルダーに一般公開
- ✓ 項目及びレイアウトは各企業で自由に決定
- ✓ 言語も自由に選択(日本語、英語等)
- ✓ 化学や毒性学用語の使用を極力抑え、一般的用語を使用する

GPS/JIPS安全性要約書の記載項目

汎用テンプレートGPS安全性要約書（JIPS RA ガイダンス第二版 p150-151）

1. 一般的記述

化学製品の使用及び有用性など

2. 化学品の名称

CAS、名称、構造など

3. 使用及び有用性

4. 物理／化学性状

5. 健康に対する影響

健康への影響に関する結論を要約

6. 環境に対する影響

環境に対する影響の結論を要約（

例：水生や陸生生物への毒性、環境運命、生分解等）

7. 曝露

産業、消費者、及び環境での使用の性質及びレベル（予測濃度）を記述し、曝露を制限する措置を記述

8. リスク管理の勧告

作業場、消費者、及び環境での使用及び曝露に対する措置など

9. 応急処置

10. 消火措置

11. 偶発的放出に対する措置

12. 廃棄に対する配慮

13. 取扱い及び貯蔵

14. 政府機関のレビュー

15. 分類及び表示

GHSなど

16. 結論

化学品のリスクとその根拠に関する総合的な記述など

17. 企業内の連絡先の情報

18. 日付

25

SDSとGPS/JIPS安全性要約書の違い

項目	SDS	GPS/JIPS安全性要約書
背景	法規制	自主的プログラム
提供対象	事業者（B to B）	全てのステークホルダー
形式	規則に準拠した必須項目	ガイダンス＋各社判断
項目	16項目 曝露情報の項目なし	項目数は任意（各社判断） 曝露、リスク管理措置に重点
内容 記載表現	専門家向け 取扱いのための技術情報 定量的な有害性情報	一般・関係者向け 安全な取扱い方法等の情報 定性的な有害性情報
情報源	ハザード情報	リスク評価結果

26

GPS/JIPS安全性要約書の書式・事例

・CEFICテンプレート

REACH登録文書をGPS安全性要約書に変換するための雛形



2011.4.1改訂版

<http://www.cefic.org/Industry-support/Implementing-reach/Guidances-and-Tools1/>

・エチレン、プロピレン

CEFICテンプレートを参考に作成

GPS 安全性要約書登録番号 0211P-0005-05

三菱化学

GPS/JIPS 安全性要約書

物質名 (SUBSTANCE NAME)

エチレン (ethylene, CAS No. 74-85-1)

物質の概要 (GENERAL STATEMENT)

エチレンは、かすかに甘い臭いのする無色のガスである。エチレンプラントという生産設備で製造され、数多くの化学製品製造の原料(例えば、ポリエチレン製造用のモノマー)として幅広く用いられている。一方、植物が生成するホルモンの一種でもあり、果実を成熟させたり、落葉を促進したりする働きがあり、リンゴやメロンなどの成熟した果実は特に多量のエチレンを出す。

極めて可燃性、引火性が高いガスであるため、熱、火花、煙火、高温のもののような着火源を近づけないことが重要である。吸い込むと、眼やめまいを起こす恐れがあるため、製造時のサンプリング等では適切な保護マスク、保護手袋の着用が推奨される。また、環境生物への影響を最小化するために、漏洩防止策を講じるとともに、定期的な監視や設備の保守点検が推奨される。

化学的特性 (CHEMICAL IDENTITY)

住友化学株式会社

GPS/JIPS 安全性要約書

物質名

プロピレン

物質の概要

無色透明で特異臭があり、極めて可燃性／引火性の高いガスです。蒸気／空気の爆発性混合気体を生じることがあります。高圧ガス：熱すると爆発するおそれがあります。眠気およびめまいのおそれがあります。

一般的用途として、アクリロニトリル、ポリプロピレン、エチレンプロピレンゴム、酢化プロピレン、アセトン、イソプロピルアルコール、オクタノールなどの合成原料の用途があります。
(出典：NITE CHRIP IV 暴露情報一用途
<http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/ComprehensiveInfoDisplay.jp.faces>)

27

6. 情報公開



(1) ICCA GPS Chemicals Portal

- ・開設: 2010年10月4日
- ・情報: GPS安全性要約書、MSDS
- ・登録: 各社で登録(ID取得必要)
各社のウェブサイト情報を記載し、
ICCA GPS Portal へリンク付け
(ICCAサーバにPDFを直接貼り付け可)
- ・言語: 制限なし(現在英語が主流, 日本語も可)
- ・閲覧: 誰でも閲覧可能

<http://www.icca-chem.org/en/Home/ICCA-initiatives/global-product-strategy/>

ICCA GPS Chemicals Portal のウェブサイト

<http://www.icca-chem.org/en/Home/ICCA-initiatives/global-product-strategy/>

The screenshot shows the ICCA GPS Chemicals Portal website. The header includes the ICCA logo and navigation links. A red box highlights the 'GPS Chemicals Portal' link in the top navigation bar. A green box highlights the 'Global Product Strategy' section, which contains a 'GPS Chemical Information Search' button. A red arrow points to this button, with a callout box labeled '物質検索ボタン' (Substance Search Button). Another green box highlights the 'GPS Portal Contributor Login' section, which includes fields for 'Username:' and 'Password:', and a 'SUBMIT' button. A callout box labeled 'GPSページへのリンク' (Link to GPS page) points to the 'GPS Chemicals Portal' link. The right sidebar contains 'Press Resources' and 'Latest News' sections.

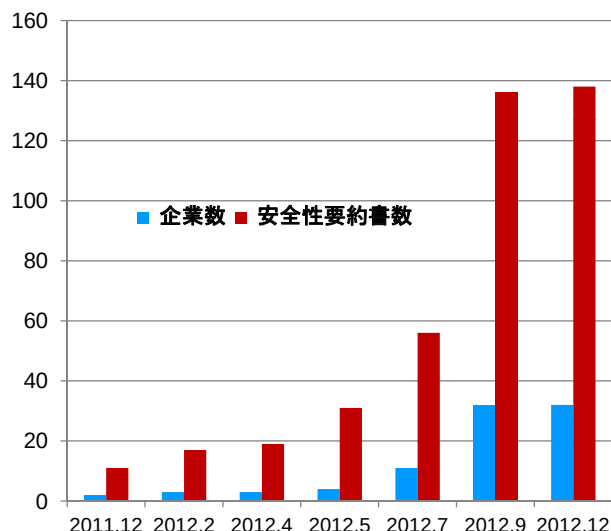
29

GPS安全要約書の検索画面

The screenshot shows the 'Chemical Information Search' page. The page title is 'Chemical Information Search'. Below the title, there is a brief description of the portal's purpose. The search form includes several input fields: 'Chemical Name:', 'Chemical CAS Number:', 'Chemical EINECS Number:', 'Synonym:', 'Brand/Product Name: (optional)', 'Product Category: (optional)', and 'Organisation or Company Name: (optional)'. A red box highlights the 'Chemical Name:' field, which contains the text 'Benzene'. A callout box labeled '例えば、“化合物名”で検索' (For example, search by "compound name") points to this field. Another callout box labeled 'CAS番号でも検索可' (Searchable by CAS number) points to the 'Chemical CAS Number:' field. A third callout box labeled '会社名でも検索可' (Searchable by company name) points to the 'Organisation or Company Name: (optional)' field. At the bottom right, there is a 'SUBMIT' button, which is highlighted with a red box and a red arrow. A 'Clear search entries' link is also visible. The left sidebar contains a 'Portal Contributor Login' section with fields for 'Username:' and 'Password:', and a 'SUBMIT' button.

30

安全性要約書アップロード状況



日本における安全性要約書のアップロード数

- 安全性要約書のGPS IT Portalへのアップロード数
 - ・2012年、新たに約1,800件増加
 - ・2013年1月、合計 3,300件以上
 - ・主に貢献した地域：米国、欧州、日本、及び湾岸諸国、南アメリカ

- この1年間、安全性要約書アップロード促進に取組み、日化協会員企業32社より 138件アップロード



ICCAより一定の評価を受けたが、今後継続・加速が求められる

企業websiteでのGPS安全性要約書の公開事例

■ BASF

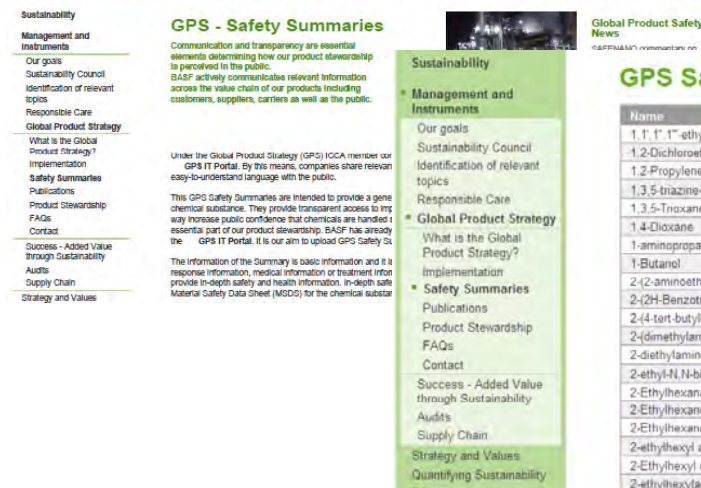
(自社ウェブサイトGPSのページを設定)



<http://www.basf.com/group/corporate/en/sustainability/management-and-instruments/gps/safety-summaries>



現時点(2013/1)で自社ウェブサイトにて165件公開・ICCAのGPS Chemicals Portalへリンク付け、合計362件の要約書を公開

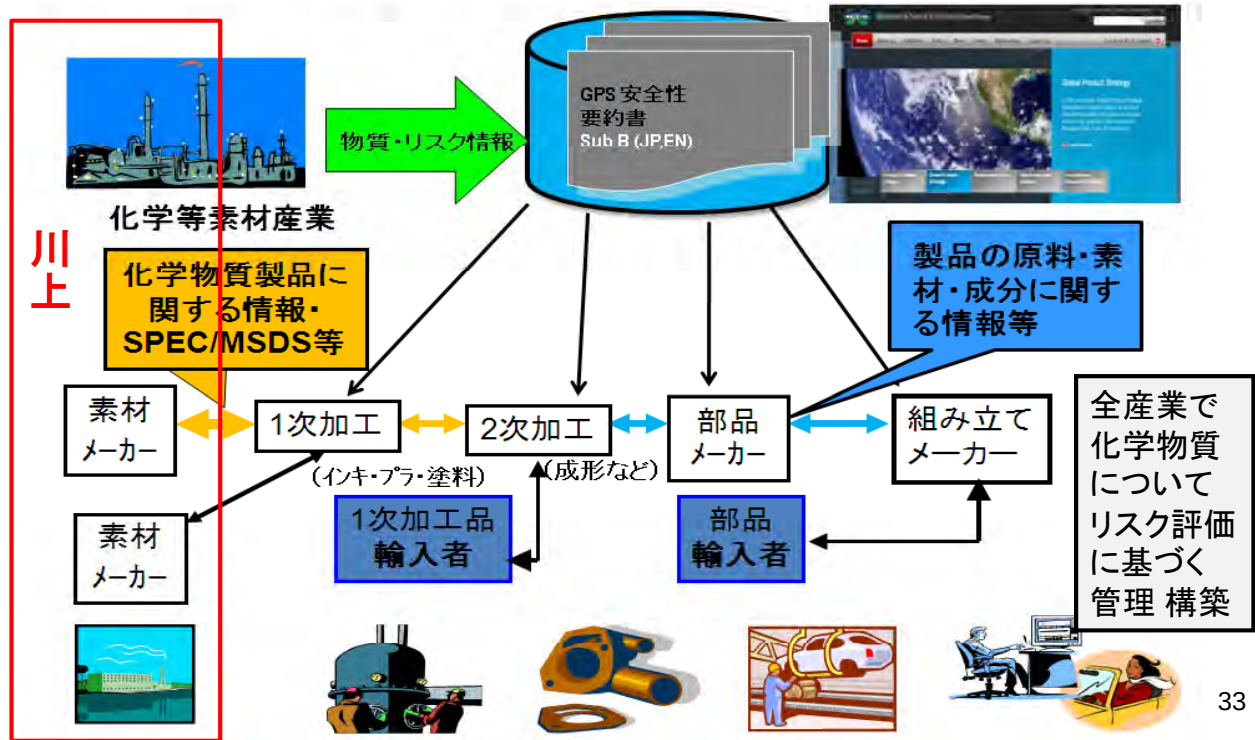


GPS Safety Summaries of BASF

Name	Cas.No.	Download
1,1,1-triethylenedinitrotolopropan-2-ol	102-60-3	Download (pdf, 132 kb)
1,2-Dichloroethane	107-06-2	Download (pdf, 144 kb)
1,2-Propylenediamine	78-90-0	Download (pdf, 143 kb)
1,3,5-triazine-2,4,6-triamine phosphate	41583-09-9	Download (pdf, 174 kb)
1,3,5-Trioxane	110-89-3	Download (pdf, 138 kb)
1,4-Dioxane	123-91-1	Download (pdf, 142 kb)
1-aminopropan-2-ol	78-96-6	Download (pdf, 134 kb)
1-Butanol	71-36-3	Download (pdf, 114 kb)
2-(2-aminoethoxy)ethanol	929-06-6	Download (pdf, 131 kb)
2-(2H-Benzotriazol-2-yl)-p-cresol	2440-22-4	Download (pdf, 131 kb)
2-(4-tert-butylbenzyl) propionaldehyde	80-54-6	Download (pdf, 155 kb)
2-(dimethylamino)ethyl acrylate	2439-35-2	Download (pdf, 150 kb)
2-diethylaminoethanol	100-37-8	Download (pdf, 139 kb)
2-ethyl-N,N-bis(2-ethylhexyl)hexan-1-amine	1860-26-0	Download (pdf, 127 kb)
2-Ethylhexanal	123-05-7	Download (pdf, 139 kb)
2-Ethylhexanoic acid	149-57-5	Download (pdf, 135 kb)
2-Ethylhexanoyl chloride	760-67-8	Download (pdf, 140 kb)
2-ethylhexyl acetate	103-09-3	Download (pdf, 101 kb)
2-Ethylhexyl chloroformate	24468-13-1	Download (pdf, 139 kb)
2-ethylhexylamine	104-75-6	Download (pdf, 139 kb)

7. 化学品サプライチェーンでの情報共有

1. 化学業界でリスク評価体制構築 → 2. 川中・川下へ展開 (JAMPと協同で)



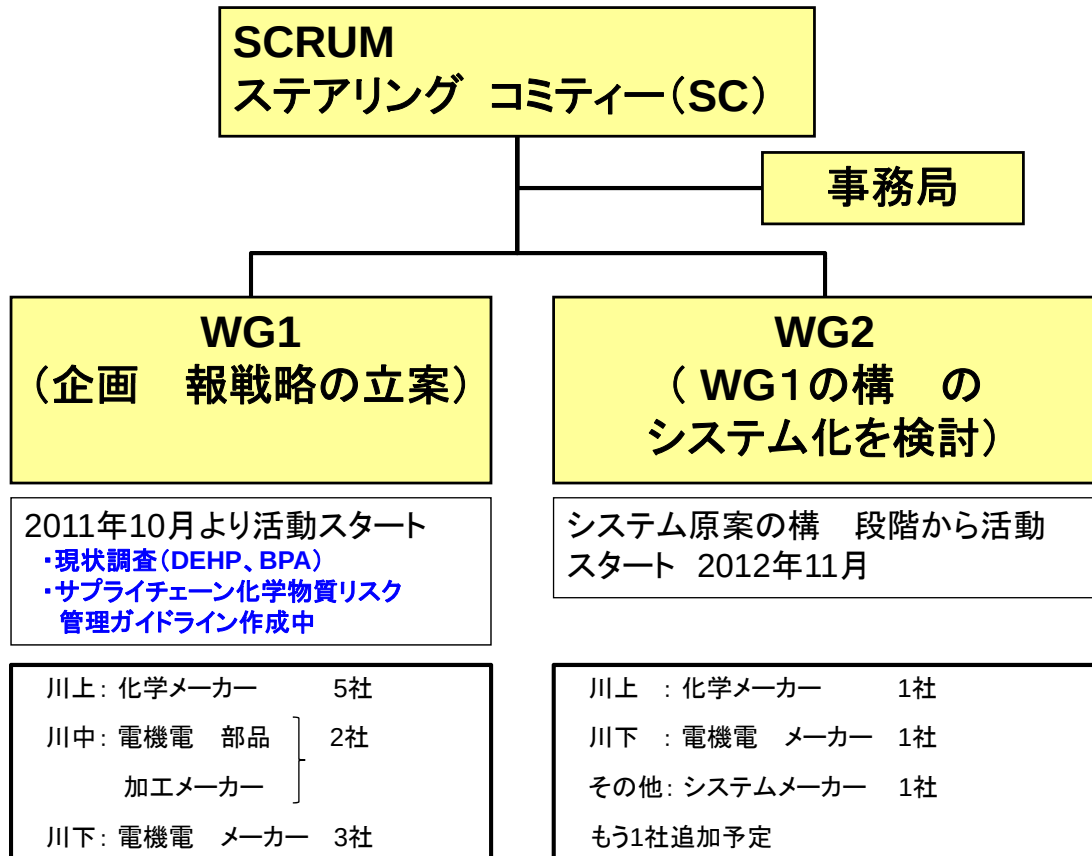
33

SCRUMプロジェクト (JAMP & 日化協 協同)

(サプライチェーン化学物質リスク管理と有用な 組み討議のプロジェクト
Project of Supply chain Chemical Risk management and Useful Mechanism discussion)

- 目的
サプライチェーン全体での化学物質のリスク評価・管理が適 に行われるための必要な情報 達と共有の 組みを構築する。
- 実施STEP
 - 1) JAMPと日化協の共同で、企画戦略WG結成
 - 2) SC各段階におけるリスク評価・管理実施にむけての実態調査とあるべき の具体化 (→委 調査の実施)
 - 3) 実現のための具体的 組みの検討
 - 4) 実施計画作成、実行
- 活動期間
2011年6月～ 、WG開 10月～
- 編成
まずWG1:企画戦略・ 報、その後WG2:IT技術、必要に応じ追加

SCRUMプロジェクトの体制



35

8. GPS/JIPS 現状と今後の課題



- ・日化協ではこれまでGPS/JIPS推進部会・WGの活動を中 心に、会員企業のJIPS活動支援及び活動の環境整備を進めてきた。
- ・ 2012年9月のICGM-3に向けて日本の産業界としてSAICM達成に貢献するため、主要会員企業を中 心にGPS/JIPS安全性要約書作成を進めた結果、32社より合計約140件の安全性要約書がGPS IT Portal にアップロードされた。
- ・ 今後日化協では活動支援を継続しGPS/JIPS活動を推進する。

啓発・ 報活動継続 (セミナー、メルマガ)
 リスク評価手法 (標準 露シナリオ、混合物のリスク評価)
 サプライチェーンでの情報共有 (SCRUM)
 工業会との連携
 新規情報システム JCIA BIGDr 構築

9. まとめ 課題と対応

- 化学品管理は大きなパラダイムシフト
 - ポイントは
 - ・サプライチェーン全体の包括的管理の追及
 - ・リスクベースでの化学品管理
 - 化学物質によるリスクと管理に関する情報も、製品の“品質”の一部
 - ・・・ビジネスの 提条件
 - これまでは、製品の正の性能にのみ 点
- ➡ これからは、リスクという の特性と合わせて
情報を開示・共有することで 合的に品質をマネジメント
⇒結果として製品の価 を向上

37

GPS/JIPSセミナー(実践編Ⅱ)

Thank you for your attention !!



38

